

ストップ！児童労働 キャンペーン2015

キャンペーン企画書

6月12日は
児童労働反対
世界デー！



児童労働ネットワーク (CL-Net)

Child Labour Network

2015.4.6

1. 主催団体CL-Netについて



児童労働ネットワーク (CL-Net)

Child Labour Network

児童労働ネットワーク (CL-Net) は、児童労働に問題意識を持ち、日本からこの問題の解決に貢献することを目指すNGO、労働組合などが参加するネットワークです。

会員団体一覧 (22団体／2015.1 現在)

(特活) アイキャン
(公社) アムネスティ・インターナショナル日本
(特活) ACE
(特活) エファジャパン
(特活) かものはしプロジェクト
(特活) 国際子ども権利センター
国際食品労連日本加盟労組連絡協議会 (IUF-JCC)
(公財) 国際労働財団 (JILAF)
(特活) グッドネーバース・ジャパン
グローバル・ヴィレッジ/ピープル・ツリー
Club World Peace Japan

情報産業労働組合連合会 (情報労連)
(公社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
Save Children Network
(特活) ソルト・パヤタス
(特活) テラ・ルネッサンス
(特活) 日本オーガニックコットン流通機構
日本労働組合総連合会 (連合)
フード連合
フェアトレード・リソースセンター
(特活) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ)
UAゼンセン

上記会員団体ほか、個人正会員5名、個人協力会員4名で構成。2004年9月設立。

1.主催団体CL-Netについて

CL-Netの活動内容

(1) 意識啓発、世論喚起

市民を対象とした児童労働についてのイベントやキャンペーン、意識啓発を行い世論を喚起しています。2005年より「児童労働反対世界デー」（6月12日）を中心に「ストップ！児童労働 キャンペーン」を実施しています。

(2) 国内外の団体との協働

国内外の団体やネットワークと連携し、児童労働をなくすための目標へ向けた取り組みを促進しています。また会員向けの内部研究会などを開催し、日本国内の関連団体および個人が持つ情報や経験を共有し、理解を促進しています。

(3) 政策提言活動

関係各府省庁の児童労働に関する意識及びコミットメントを強めるために、政策提言活動を行っています。

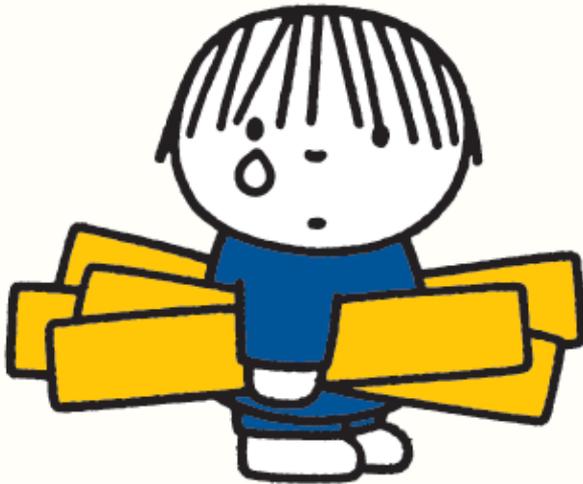
(4) その他の活動

その他の目的を達成するために必要と思われる活動を行っています。

2.ストップ！児童労働 キャンペーンについて

ストップ！児童労働 キャンペーン

6月12日が「**児童労働反対世界デー**」に定められた
(国際労働機関、2002年) ことを背景に、2006年より児童
労働ネットワークが本キャンペーンを開始しました。



©Mercis by

特別協力 (株) ディック・ブルーナ・ジャパン

ミッフィー (うさこちゃん) の生みの親として知られるオランダの絵本作家・グラフィックデザイナーのディック・ブルーナさんが描かれたイラストをキャンペーンのイメージキャラクターに使わせていただいています。

このイラストは、1999年にオランダ労働組合連盟 (FNV) が「Stop Child Labour」のメッセージを掲げるために製作したポスターで使われました。

「自分ができるジャンルで、世の中の困っている人たちの力になるのは、人として当たり前のこと。絵やデザインで貢献できるなら、できる限りの力を尽くしたいと考えます。」

(「ディック・ブルーナ ぼくのこと、ミッフィーのこと」2005年、講談社より)

2.ストップ！児童労働 キャンペーンについて

児童労働 とは

今、世界の子どもの9人に1人が児童労働者です。教育の機会を奪われ、健全な成長を妨げる児童労働をしている子どもたちは、世界で1億6800万人以上いると言われています。

(国際労働機関 (ILO) 2013年発表推計)

子どもらしい成長を妨げる「児童労働」

危険で有害であり、子どもらしい成長を妨げる「児童労働」。劣悪な環境での長時間労働、借金の肩代わりとしての強制労働、人身売買による性産業、戦争にかりだされる子ども兵士など。世界の子どもの7人に1人が「児童労働者」と呼ばれる子どもたちです。その背景には、貧困、教育の機会の欠如、子どもを働かせる社会的・文化的習慣などがあります。

日本の私たちも児童労働とは無縁ではない

日本では、児童労働はどこか遠い国の問題だと考えられがちです。でも、チョコレートの原料のカカオやコーヒー、紅茶など、自分が知らないうちに、児童労働で作られたものを使っているかもしれません。人身取引やポルノなど直接日本で犠牲となる子どもたちも存在します。経済のグローバル化が進む現在、私たちは児童労働とは無縁ではないのです。子どもたちの未来を守るのは私たちの責任です。



©GNJP

2.ストップ！児童労働 キャンペーンについて

サッカーと児童労働

昔小学校で遊んだサッカーボールも、子どもが作ったものだった・・・
かもしれない



1990年代後半、サッカーボール産業に多くの子どもたちが関わっていることが問題となりました。

低賃金の上に、硬い皮を扱うため子どもたちは手を怪我し、時には変形してしまうこともありました。

この問題に対し、FIFA（国際サッカー連盟）をはじめ国際機関、NGO、スポーツ業界が協力して、サッカーボール産業の児童労働撤廃に取り組み、状況は改善されてきました。

これは、企業や消費者、国際機関や市民団体など社会全体が協力することで、児童労働の予防と撤廃が実現できることの証明でもあります。

2.ストップ！児童労働 キャンペーンについて

課題

・世間で「児童労働」という言葉の認知度が低い。

・児童労働の問題を知った人が、次にどんな行動を起こせばいいのかがイメージしにくい。

・日本政府による児童労働撤廃に向けた取り組みが活発でない。

目標

→ ・児童労働という言葉を知っている人が増える。

→ ・児童労働解決のために市民が行動を起こす。

→ ・日本政府による児童労働撤廃に向けた取り組みが強化・促進される。

2.ストップ！児童労働 キャンペーンについて

世界的な児童労働への関心の高まり



ノーベル平和賞受賞者
カイルシュ・サティヤルティ氏
(人権活動家)

©ACE

2014年のノーベル平和賞は、「子どもの権利」を守る取り組みをされているパキスタンのマララ・ユスフザイさん（17）と、インド人のカイルシュ・サティヤルティさん（60）が受賞しました。

長年、児童労働の問題に取り組まれてきたカイルシュさんがノーベル平和賞を受賞したこともあり、「児童労働」への世界的な関心が高まっています。

これを機に、児童労働問題解決に向けた取り組みがよりいっそう進むことを期待しています。

2.ストップ！児童労働 キャンペーンについて

2014年の活動実績

「児童労働をなくそう！」の意思を、レッドカードを挙げた写真で示す「**レッドカードアクション**」は、サッカーワールドカップの波に乗って大きく広がりました。また、政策提言活動では2015年以降の国連の新たな開発目標（ポスト2015開発アジェンダ：SDGs）に児童労働を入れることを強く求め、過去最多となる数の署名を外務省に提出・要請しました。児童労働のない世界に、また一步近づいています。

2014年活動実績一覧

「レッドカードアクション」	投稿された写真 アクション参加人数	714枚 9,210人
ストップ！児童労働署名	筆数 累計（2008年から）	44万8,635筆 123万2,557筆
賛同イベント	イベント件数 イベント参加者数	29件 約9,100名



前園 真聖さん
元サッカー日本代表



職場でレッドカード（NTT労働組合）



木原政務官（中央）とCL-Net代表団

3.2015年のキャンペーンについて

概要

- 名称：ストップ！児童労働キャンペーン2015
- 期間：2015年5月5日（火）～7月5日（日）

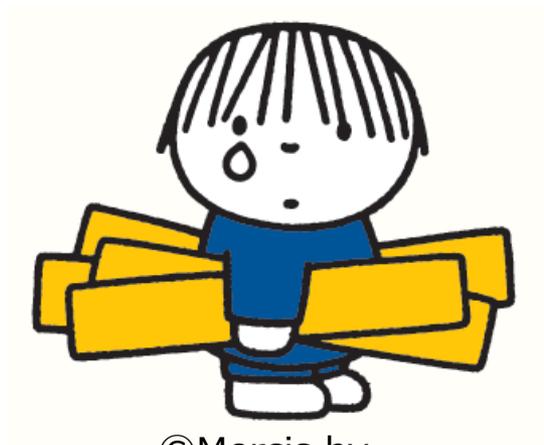
参考：5月5日 こどもの日

6月12日 児童労働反対世界デー

6月6日～7月5日 2015 FIFA女子ワールドカップ（カナダ）

活動

- 「レッドカードアクション」
- 「ストップ！児童労働50万人署名」
- 賛同イベントの開催呼びかけ
- 広報活動、世論喚起：
ウェブサイトやSNSからの発信、プレスリリース等



©Mercis by

4. レッドカードアクションについて

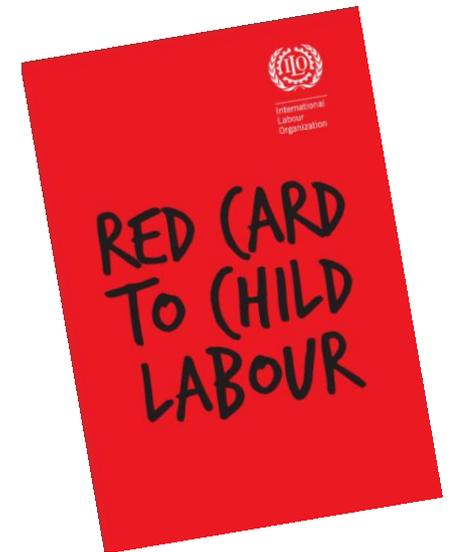
国際労働機関(ILO)※は、児童労働の問題をより多くの人へ伝え、「児童労働反対」の意思表示としてレッドカードを掲げるキャンペーンを世界各国で展開。

※国際労働機関(ILO)：1919年、労働条件の改善を通じて、社会正義を基礎とした世界平和の確立に寄与することを目的として設立された国際機関



CL-Netはこのキャンペーンに賛同し、「レッドカードアクション」を全国に呼びかけます。

レッドカードアクションはILOの呼びかけで世界中で行われていますが、草の根で全国へ広がる例は日本独自の先進的なものです。



5.署名活動について

2008年に署名活動を開始し、日本政府へ児童労働問題に対する取り組み強化を要請してきました。

これまで日本政府に提出したきた署名は120万筆を超えました。



	署名筆数	累計	提出先
2008	12,004	12,004	外務省（小野寺副大臣）
2009	74,396	86,400	外務省（福山副大臣） 文部科学省（川端大臣） 厚生労働省（細川副大臣）
2010	200,036	286,436	外務省（伴野副大臣） 文部科学省（笠政務官） 厚生労働省（小宮山副大臣）
2011	212,346	498,782	外務省 文部科学省（森副大臣） 厚生労働省（小宮山副大臣）
2012	285,140	783,922	内閣府（少子化対策）（小宮山大臣） 外務省（加藤政務官） 文部科学省（城井政務官） 厚生労働省（小宮山大臣） 経済産業省（柳澤副大臣）
2014	448,635	1,232,557	外務省 内閣府 文部科学省 厚生労働省 経済産業省

5.署名活動について

名称：「ストップ！児童労働キャンペーン2015」

目標：50万筆

期間：2015.2.1~5.31

提出先：内閣総理大臣、外務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣

要請内容：

1. ポスト2015年開発課題は、人々を中心に据え、権利を基礎にした持続可能な開発が課題となります。政府開発援助(ODA)において、特に貧困削減、普遍的初等教育の推進、若年雇用対策のなかで、児童労働撤廃の主流化を図るなどして、積極的に取り組んでください。

2. 貿易政策において児童労働撤廃の主流化を図るとともに、企業の児童労働に対する社会的責任の啓発を積極的に行ってください。

5.ご協力をお願い

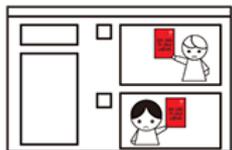
団体・学生グループとして、レッドカードアクション・署名活動にご協力をお願いします。

レッドカード・アクション



参加方法

- ① **レッドカードを入手**
(WEBからダウンロード、または郵送にて)
- ② **レッドカードを掲げる**
- ③ **写真を撮る**
- ④ **「#STOPCL」をつけて写真+メッセージをFacebookまたはTwitterにアップし、友達にシェアする**
(実施報告フォームから投稿することもできます。)



ストップ！児童労働50万人署名

参加方法

- ① 署名用紙を**ウェブサイト**からダウンロードする
(**FAX**でも可能)
- ② 署名を集める
- ③ 郵送又はFAXでキャンペーン事務局へ送る

5.ご協力のお願い

支援メニュー	内容・金額	特典	
<p>キャンペーン 賛同団体・個人</p>	<p>キャンペーン活動全体の推進 (レッドカードアクション、 署名活動、キャンペーン賛同 イベント開催、広報活動)</p> <p>(企業・法人) 一口10,000円 (非営利団体) 一口 5,000円 (個人) 一口 2,000円</p> <p>(賛同金は、レッドカードアクション を含むキャンペーンの実施、広報等に 活用させていただきます)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションの様子をSNS・ウェブサイト等で紹介 ・CL-Netのウェブサイトやキャンペーン報告書に企業名を掲載 ・フライヤー (兼レッドカードアクションツール) を無料で配布 (上限あり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴社主催の、キャンペーン賛同イベントの広報協力 ・CL-Netのウェブサイトにロゴを掲載 (賛同金5口以上) ・キャンペーンの出張説明・出張講演 (賛同金10口以上で応相談)
<p>キャンペーン 協力団体</p>	<p>「レッドカードアクション」 または署名活動を組織単位で 推進または実施する</p>		
<p>広報協力</p>	<p>キャンペーン広報協力 (例) 貴社WEBサイトへのバナー設置、 SNSでのシェア、リツイート、社内報や貴 社でお持ちの媒体での広報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報協力内容をSNS・ウェブサイト等で紹介 	

5.ご協力のおかげ

2014年のレッドカードアクションの例



柏レイソル様

ファン感謝デー（7.13）の最後に行われる記念撮影時に選手、スタッフ、ご賛同頂けるサポーターの皆さんにもご協力頂き、レッドカードを掲げて写真を撮影しました。また、この写真は柏レイソルオフィシャルHP、Facebook、twitterに掲載されました。



ELLIS BAR様

スポーツバーELLIS BARでは、通常のレッドカード配布のほか、レッドカードデザインのコースターを設置してくださいました。



キリンビール労働組合様



三輪田学園様

5.ご協力のおかげ

2014年の広報実績

媒体	露出	閲覧者の傾向
<p>WEBサイト cl-net.org/ 集中情報発信期間 5/5 (火) ~7/5 (日)</p> 	<p>22,541PV (2014年のキャンペーン期間 6/1~7/13)</p>	<p>学生 児童労働に関心がある 人権に関心がある</p>
<p>フェイスブック facebook.com/stopCL 集中情報発信期間 5/5 (火) ~7/5 (日)</p> 	<p>2,062 いいね (2015/1/13)</p>	<p>国際協力に関心がある サッカーに関心がある</p>
<p>ツイッター @CLNET #STOPCL 集中情報発信期間 5/5 (火) ~7/5 (日)</p> 	<p>1,267 フォロワー (2015/1/13)</p>	<p>児童労働ネットワークに 加盟する企業・労組</p>
<p>キャンペーン報告書 8月発送予定</p> 	<p>7,000部 (A3二つ折り 2014年)</p>	

6.CL-Net 広報について

◆CL-Netウェブサイト www.cl-net.org/

- ・キャンペーン概要やイベント・レッドカードアクション・署名情報等を掲載します。
- ・キャンペーンバナーをご活用いただけます。

バナーからの
リンクを
お願いします！

いいね！&シェア
をお願いします！

◆Facebook www.facebook.com/stopCL/

◆Twitter @CLNET #STOPCL

- ・情報発信及びレッドカードアクションは、FacebookとTwitterを中心に行います
- ・キャンペーンおよび児童労働の情報を発信します。

フォロー&
リツイート
をお願いします！

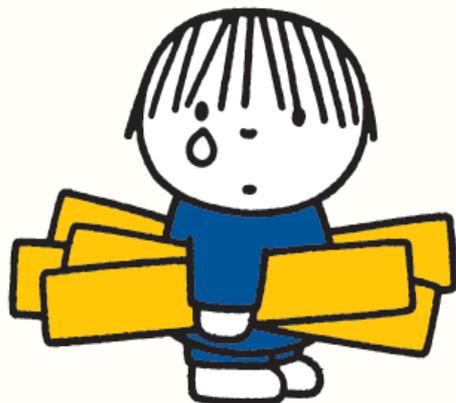
7.参加申し込み・お問い合わせ

キャンペーンにご賛同またはレッドカードアクションにご参加いただける企業・非営利団体・学生団体様はCL-Net事務局までご連絡いただくか、下記のWEBフォームよりお申し込みください。

<WEBフォーム>

(賛同団体) <http://ws.formzu.net/fgen/S11241629/>

(協力団体) <http://ws.formzu.net/fgen/S44674981/>



©Mercis by

児童労働ネットワーク (CL-Net) 事務局

〒110-0015

東京都台東区東上野1-6-4 あつきビル3階 ACE内

TEL : 03-3835-7555

FAX : 03-3835-7601

Eメール : info@cl-net.org

URL : <http://www.cl-net.org>

担当 : 召田 (めすだ) 、 杉山、 中尾



児童労働ネットワーク (CL-Net)

Child Labour Network